

平成28年度

# 『市民と議会との懇談会』を開催

市民と議会との懇談会を、4月26日から28日までの3日間、市内9会場で開催しました。

161人（うち女性16人）の皆様から、106項目にわたる意見・提言を頂きました。（内訳7頁）これらの意見・提言は、3つの常任委員会にて調査・研究を行い、市政への政策提言、要望行動につなげてまいります。いただいた意見等の主な内容を紹介します。

## 遠野会場

- 会場：あえりあ遠野 参加者：19名
- 遠野ならではの小中高一貫教育の指導体制を構築し学力の強化を。
- 中長期的改修で一年を通して水が流れる（排雪もできる）市街地の水路に。市の計画に反映を。
- 地区に配置の除雪機の増台を。
- 行政区の再編について、市の具体的な取り組みの説明を。
- 仮設住宅「希望の郷」を補強し、希望する人に残っていただけける対応を。
- 材木町側の早瀬川堤



- 防の補強を。
- ILC（国際リニアコライダー）の誘致を。
- 遠野の一次産業を守るために、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）による不安をなくする働きかけを。

## 綾織会場

- 会場：綾織地区センター 参加者：17名
- 清養園クリーンセンターの今後の整備計画は。
- 汚染牧草の保管に使用したテナントの利活用は。
- 市のごみの減量化、ごみ処理の有料化の現状は。
- 高校再編、2校存続の強い働きかけを。
- 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことで、子ども達が犯罪や選挙違反に巻き込まれないよう取り組みを。
- 管理委託河川水門等箇所一覧表の見直し。

## 小友会場

- 会場：小友地区センター 参加者：18名
- 市指定天然記念物が十分に管理されていない。対応を要望する。
- 千本桂の木が伐採木運搬のため被害を受けた。早急な対応を。
- 農業振興計画の作目別詳細計画の策定を。
- 火災発生時に消防団が機能しない。
- 火災の発生時の防災無線放送が適切でない。
- 子ども達への伝承のためにも、芸能の保存用DVD作成に支援を。
- 新規に農業参入する若い人には助成があるが、Uターン者にも助成と技術指導を。
- 老朽化等で危険な橋梁の補修を。

## 附馬牛会場

- 会場：附馬牛地区センター 参加者：10名
- 遠野インターチェンジから国道283号線への接続部、2車線化を。
- 木工団地や水光園で実験している木質バイオマス事業の一般への拡張性は。
- 安居台から矢崎に抜ける市道、水が山から流れ土砂が溜まる。市道の舗装を。
- 重端溪の側溝の蓋やガードレールの改修を。
- 荒川高原に埋めた汚染稲藁の環境への影響はないのか。
- 荒川高原に観光客用



## 松崎会場

- 会場：松崎地区センター 参加者：19名
- 八幡住宅周辺の市道の補修と、歩道の早期整備を。
- 市営八幡住宅への入居者保証人の要件緩和を。
- 農業対策の積極的な議論をし、TPPには反対の働きかけを。
- 小田沢の側溝の破損箇所を補修してほしい。
- 市民サッカー場周辺の水路に危険防止の蓋の設置を。



- 県立遠野病院裏の狭あい道路拡張と水路の整備を。
- 行政区や自治会の再編見直しについての現状は。
- 円滑な行政区活動のために区長報酬を上げるべきでは。

## 土淵会場

- 会場：土淵地区センター 参加者：29名
- シカによる被害で、貞任高原の水芭蕉が咲かない。電気牧柵を設置し立入禁止となつているが、経緯を知らせる看板の設置で観光客への配慮を。
- 小鳥瀬川内の樹木等



- の伐採・撤去、堆積する土砂への対応を。
- カップロード交差点への信号機及び横断歩道の設置を。
- たい肥の有効利用について、ストックヤードを増やして完熟たい肥を供給してほしい。
- 児童館の設置も含めた土淵小学校の改築を。

## 青笹会場

- 会場：青笹地区センター 参加者：18名
- 放課後の子どもの居場所が不足。青笹児童館の拡張を。
- 青笹保育園で園児が増え手狭。兄弟で同じ保育園に入れない状況も。早めの対策を。
- ゴミ集積所の老朽化に伴う移設を検討。資金面の助成を。
- JR関田踏切から関田橋に歩道の整備を。
- 小学生に声掛け事業も発生しているのので、通学路に街路灯の設置を。



## 上郷会場

- 会場：上郷地区センター 参加者：18名
- 多面的機能支払制度に係る長寿命化への取り組みに対する国の補助を全額に。
- 農地中間管理事業を利用し法人化したい。市の対応を要望する。
- 議会が市に要望する際、その必要予算額と財源も考え要望すべき。
- 一般質問に対し内容の重複は避けるべきでは。答弁も長い。
- 農業分野等、常任委員会でも継続調査し、関係機関と連携して、目標達成を。
- 議会において市政課題を突き詰めて調査研究し、議員発議を

## 宮守会場

- 会場：みやもりホール 参加者：13名
- まちづくり検証委員会の検証結果で何が変わったか。
- 達曾部診療所閉所後、タクシーで遠方の病院に通院しているため経済的負担が大きい。支援策を。
- バス代の補助だけではなく、自家用車で通院する透析患者に対して補助が欲しい。
- 宮守インター付近で工事が終わっていない箇所がある。住民が納得できる説明を。



### 懇談会での意見・提言の分野別件数と主な内容

分野別	件数	主な内容
インフラ整備	23	生活道路、橋梁、水路、公園、観光施設、インター周辺
市民生活	18	行政区、ごみ処理、街灯、公共交通、子育て支援、市営住宅要件、区長報酬
農畜林業	13	シカ被害対策、農業振興計画、多面的機能支払、農地中間管理、後継者
防災	11	水害対策、水防計画、自主防災、消防団、防災無線、土砂対策
議会	9	議会運営、調査研究
学校教育	7	学力向上、施設整備、高校再編、中学校再編の検証
文化財	6	管理、郷土芸能、かやの保存、遠野遺産
放射能対策	5	保管場所利活用、測定値公表、除染対策
観光振興	5	観光案内、SL 銀河、観光マップ、トイレ設置
産業経済	3	木質バイオマス、移住定住
健康福祉	2	診療所、透析患者への助成
震災復興	1	仮設住宅
その他	3	職員人事、2019 ラグビーワールドカップ支援
合計	106	

懇談会での意見・提言は、三常任委員会に振り分け、市政課題として調査研究する事項を定め、来年度予算を伴うものを9月下旬に市に要望。その他の事項も予算委員会等で取り上げ、2月に対応した経過等を公表します。道路や橋などのインフラへの要望は、緊急度を判断し、予算の範囲内での対応となります。